

4 カリキュラムの実際

(1)大館市共通版「架け橋期のカリキュラム全体計画」(5歳児～1年生)

大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】 豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、表現したり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】気付いたことやできるようになったこと、使った道具、工夫を、

【学びに臨む力・人間性等】 できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動へつなげる。

5

期	4 5歳児 第1期	5 5歳児 第2期	6 5歳児 第3期	7 5歳児 第4期	8 5歳児 第5期
ねらい	年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。	友達と思いや伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めたい中で仲間意識を高める。	友達と思いや伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めたい中で仲間意識を高める。	友達と思いや伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めたい中で仲間意識を高める。	友達と思いや伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めたい中で仲間意識を高める。
知識及び技能の基礎	ア：体を動かす楽しさや心地よさを感じ、いろいろな運動遊びに進んで取り組む。 イ：災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。 ロ：砂遊びや花遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。 ハ：縄跳びやフープなどの回数を数えるなど、遊びの中で必要感をもて数えることを通して数を実感する。 ニ：絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさを感じ、言葉の豊かさを大切にする。	ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、十分に体を動かして遊ぶ。 イ：絵本や図鑑、身近な草花などから情報を取り入れ、遊びがよりの本物に近づきたいことを楽しむ。 ロ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ハ：文字や数字、図形、描画などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 ニ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもて調べ、言葉が広がることを楽しむ。	ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、十分に体を動かして遊ぶ。 イ：絵本や図鑑、身近な草花などから情報を取り入れ、遊びがよりの本物に近づきたいことを楽しむ。 ロ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ハ：文字や数字、図形、描画などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 ニ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもて調べ、言葉が広がることを楽しむ。	ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、十分に体を動かして遊ぶ。 イ：絵本や図鑑、身近な草花などから情報を取り入れ、遊びがよりの本物に近づきたいことを楽しむ。 ロ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ハ：文字や数字、図形、描画などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 ニ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもて調べ、言葉が広がることを楽しむ。	ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、十分に体を動かして遊ぶ。 イ：絵本や図鑑、身近な草花などから情報を取り入れ、遊びがよりの本物に近づきたいことを楽しむ。 ロ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ハ：文字や数字、図形、描画などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 ニ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもて調べ、言葉が広がることを楽しむ。
社会力・判断力・表現力・能力	ア：レジャーやスポーツなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合っていく。 イ：園庭の草花や野草、虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもて調べ、命あるものを大切にしようとする。 ロ：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、数える、比べる、形を工夫することを覚える。 ハ：絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。 ニ：体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を十分に活用し自分なりに表現することを楽しむ。	ア：遊びの目的に沿って時間を決めて遊ぶ。友達や先生と一緒に遊ぶ。遊びのルールを守り、自分たちで遊ぶ。 イ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり話したりすることを楽しむ。 ロ：収穫した野草の数を数えたり、大きさや色を比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ハ：つづき遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ニ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。	ア：遊びの目的に沿って時間を決めて遊ぶ。友達や先生と一緒に遊ぶ。遊びのルールを守り、自分たちで遊ぶ。 イ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり話したりすることを楽しむ。 ロ：収穫した野草の数を数えたり、大きさや色を比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ハ：つづき遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ニ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。	ア：遊びの目的に沿って時間を決めて遊ぶ。友達や先生と一緒に遊ぶ。遊びのルールを守り、自分たちで遊ぶ。 イ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり話したりすることを楽しむ。 ロ：収穫した野草の数を数えたり、大きさや色を比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ハ：つづき遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ニ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。	ア：遊びの目的に沿って時間を決めて遊ぶ。友達や先生と一緒に遊ぶ。遊びのルールを守り、自分たちで遊ぶ。 イ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり話したりすることを楽しむ。 ロ：収穫した野草の数を数えたり、大きさや色を比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ハ：つづき遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ニ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。
学びに伸びる力・人間性	ア：縄跳びや鉄棒などで、自分の目標を立てて諦めないで挑戦しようとする。 イ：ルールのある遊びの中で、勝敗を受け入れ、友達と競い合ったりの態度で遊びたい。 ロ：進んで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちや心をこめて伝えようとする。 ハ：母の日や父の日などを通して家族の大切さに気がき大切にしようとする。	ア：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 イ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 ロ：トラブルを乗り越え、思い通りにいかない経験を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返して、相手の思いに気がきながら仲間としてのつながりを深めようとする。 ハ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わりあうことを感じる。	ア：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 イ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 ロ：トラブルを乗り越え、思い通りにいかない経験を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返して、相手の思いに気がきながら仲間としてのつながりを深めようとする。 ハ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わりあうことを感じる。	ア：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 イ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 ロ：トラブルを乗り越え、思い通りにいかない経験を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返して、相手の思いに気がきながら仲間としてのつながりを深めようとする。 ハ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わりあうことを感じる。	ア：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 イ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 ロ：トラブルを乗り越え、思い通りにいかない経験を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返して、相手の思いに気がきながら仲間としてのつながりを深めようとする。 ハ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わりあうことを感じる。
★各行政機関との連携・交流	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★架け橋プログラム見直し	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★架け橋プログラム見直し	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★架け橋プログラム見直し	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★架け橋プログラム見直し	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★架け橋プログラム見直し

○☆ ☆ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取
☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返

戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、
たり紹介したりする。

○ 1日の生活の流れを簡潔とともに表示し、活動の見通しがもて

を展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚

○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や道具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所

ト 買い物や通学などを、ともに一緒にできて用意したり、場所や時間を十分に保障したりする。

- ・ 子どもの園での様子を伝えたり、家庭での様子や発育上心配な
- ・ 遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのよう

ことを聞いたりしなかつ、保護者の思いを受け止めることも、信頼関係を築いていく。

[illegible]

- ・ 年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長をともに喜び合ったり考えたりして支えていく。
- ・ 遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、子を伝えながら理解を得るようにする。

● 架け橋期に期待する姿 ● 期ごとのねらい

● 育みたい資質・能力

「知識及び技能の基礎」

「思考力・表現力・判断力等の基礎」

「学びに向かう力、人間性等」

● 交流活動・行事・ふるさとキャリア活動

☆子ども交流 ★職員交流

● 環境の構成、援助のポイント ● 家庭との連携

※具体的な展開例の解説を別添資料とする

(2) モデル地区「架け橋充実期のカリキュラム全体計画」

(5歳児10月～1年生7月)

祝園内小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画 (5歳10月～1年生7月)

架け橋期の目指す子ども像	大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学び喜びや美しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
前向きな心	夢や目標をもち進んで学ぶ子ども (ドリームグリーン)
美しい心	自分も友達も大切にし協力し合う子ども (ビューティフ)
挑戦の心	あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども (チャレンジ)

●「架け橋期に期待する姿」 ●期ごとの「ねらい」

● 期ごとの「小学校区で目指す子どもの姿」

※子どもの実態や課題の協議から焦点化された「育てたい力」(共通の視点)

「育てたい力(共通の視点)」が、「目指す子ども像」と整合している

●「共通して充実を目指す活動・体験」

※園と小学校が具体的に協議する

「共通して充実を目指す活動・体験」に「育てたい力(共通の視点)」が反映される

●「交流活動・行事・ふるさとキャリア活動」

☆子ども交流 ★職員交流

●「環境の構成、援助のポイント」 ●「家庭との連携」

※具体的な展開例の解説を別添資料とする

5 カリキュラムの活用・展開のために

(1) 小学校教科書改訂に伴う各教科の年間指導計画

令和6年度 第1学年 生活科 年間指導計画並びに実施記録 No. 1			
月	単元名／題材名	指導内容	備考 ●架け橋ポイント (幼児期の経験例など)
	小・中単元名／教材名		
	どきどき わくわく 1ねんせい 目標：学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育での経験を思い起こしながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりし、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。		●幼児期には、お楽しみ会などで友達と交流する遊びを経験している。 例 フルーツバスケット ハンカチ落とし いすとりゲーム じゃんけん列車 じゃんけん取りゲーム など ●幼児期の施設と小学校とで大きく違うのがトイレの環境。子どもたちが安心できる環境を工夫してほしい。
4	はじめまして きょうしつ はじめまして ともだち はじめまして がっこう	□1日目：学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 □2日目：名刺をつくって自己紹介をする。 □3日目：校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 □4日目：教室や校庭で遊んだりして、友達と関わる。 □5日目：学校や校庭を歩いたり、生き物を探したりする。 □6日目：学校生活について話し合ったり人数集めゲームをしたりする。 □7日目：学校の中をみんなで歩いてめぐり、見付けた物を友達と話す。 □8日目：学校をみんなで歩いたり、校庭で遊んだりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。	●幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりする中で、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。 【知技】学校の施設の使い方や、友達のよさに気付いている。 【思判表】幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いている。 【態度】友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。 ※全8時間＋国語4 2/3（書写2/3）＋算数2＋音楽1 1/3＋図工1 2/3＋体育4 1/3＋道徳1＋学活5 といったように合科的・関連的に進める。
	がっこう だいすき 目標：学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活		●5歳児の「思い出遠足」などでは、自分たち

令和6年度 第1学年 体育科 年間指導計画並びに実施記録 No. 1			
月	単元名／題材名／教材名	指導内容	備考 ●架け橋ポイント (幼児期の経験例など)
	小・中単元名／教材名		
	グループ行動	□ 気をつけ、れい、休め、方向転換等 □ 集合、2列縦隊、番号、解散 □ 開列、行進、足踏み	1 その場にふさわしい集団としての行動様式が身に付くように、年間を通して指導する。
	つくりの運動遊び ア 次の運動遊びでは、基本的な動き方を身に付けたりする。 ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりする。 ア 体を動かしたり多様な動きをつくり出したりする。 ア 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をし、場の安全に気を付けたりする。	□ 伸び伸びとした動きで新聞紙やテープ、ボール、なわ、体操棒、フープといった操作しやすいう品を用いた運動遊び □ リズムに乗った、心が弾むような動作で運動遊び □ 動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動 □ 伝承遊びや集団による運動遊び	2 ●心や体の変化に気付くことが苦手な児童には、表情を表す絵や感情を表すカードを示し自分の心や体の変化のイメージができるようにするなどの配慮をする。 ●友達と楽しく運動をすることが苦手な児童には、友達とハイタッチや拍手で喜びを共有するなど、共に運動遊びをする楽しさや雰囲気を実感することができるようになるなどの配慮をする。 ○集団行動と体ほぐしの運動遊び、走の運動遊びは組み合わせで行ってもよい。
	遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを越えたりする。 しだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたてで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動を受け入れたり、場の安全に気を付けたりする。	□ 30m～40m程度のかけっこ □ 折り返しリレー遊び、低い障害物でのリレー遊び	6 ●かけっこで、リズムよく走るこゝろが苦手な児童には、一定のリズム、走のリズムなど、いろいろなリズムで走ったり、レーン上に目印を置いて、分かりやすいレーンを設定したりするなどの配慮をする。 ●リレー遊びで、バトンに渡す

備考欄に「♡架け橋ポイント」を付記し、小学校就学前の学びの経験を単元計画、スタートカリキュラム、日常の授業改善に生かしていきます。

(2) 複数校へ就学する場合のカリキュラムの位置付け

幼稚園教育要領
認定こども園教育・
保育要領
保育所保育指針

小学校学習指導要領
総則・生活科



市共通版
架け橋期のカリキュラム

セレクト & オリジナリティ

A小学校区版
カリキュラム

B小学校区版
カリキュラム

C小学校区版
カリキュラム

D小学校区版
カリキュラム

E小学校区版
カリキュラム

A園アプローチカリキュラム
(保育の計画)

C小学校
スタートカリキュラム

B園アプローチカリキュラム
(保育の計画)

全小学校区のカリキュラムを「架け橋カリキュラム集」として全教職員に配付。
就学する複数小学校のカリキュラムも参考にして、5歳児の保育の計画を作成することで対応。

(3) 従来の「スタートカリキュラム」の見直し

To Do Listになって
いませんか？

学習指導要領



架け橋期のカリキュラム

小学校への適応
段差の解消

従来のスタートカリキュラム

1週間に・・・靴箱の使い方・教室に来てからの準備の仕方・身長順の並び方・トイレ水飲み場の使い方・下校の並び方・お便りの入れ方・帰りの準備の仕方・連絡帳の出し方・絵本袋の持ち方・本の借り方・返し方・鉛筆の持ち方・机上の学習用具の置き方・廊下の歩き方・・・??

「重点スキル」の項目で、毎日2項目ずつ??

架け橋スタートカリキュラム

各小学校区版架け橋カリキュラムの「共通の視点」を「共通して目指す活動・体験」に反映するための具体的な計画へ

- 子ども主体の学びへの転換
- 弾力的な時間割
- 合科的・関連的な指導の工夫
- 小学校就学前の経験を生かし、自己発揮の場を



6 成果

(1) 小学校区内のチームワーク

- 異質なものが出会うことで「**化学反応**」が生まれる
 - ・・・気付きから生まれる自らの保育・教育の見直し
- 顔が見えるおつきあいで「**仲間意識**」「**主体性**」「**発展**」が生まれる
 - ・・・交流や連携のわくわくするアイデア、気軽な交流
- 「子ども」を中心に据えた幼保小中教育の「**融合**」が生まれる
 - ・・・学区の課題や目指す子どもの姿を共有
- 学校規模に応じて柔軟な「**交流バリエーション**」が生まれる
 - ・・・様々な人・学年との交流で育つ「**他者意識**」

架け橋期の子どもたちを共に育てようと
する大人たちの共感的協働力

(2) 小学校1年生担任・小学校の先生方

- 園生活や就学前の育ちを知り、**発達を意識した**指導や援助
- 一人一人の**違いを尊重**する姿勢、**肯定的**な見方、言葉かけ
- 成功させるための準備よりも、**思いや願いの醸成**を重視
- 子どもが話したくなる雰囲気づくり、考えたくなる**仕掛け・授業展開**
- 教えるのではなく「何でだろう？」「どうしようか？」と子どもから**引き出す声かけ**
- 交流での子どもの変容から、**効果の大きさを実感**
- 子どもの声（**知的好奇心、気付き**）から組み立てる授業・単元構想
- **試行錯誤**の時間、**待つ姿勢**を大切に

子どもを信じて任せる授業への転換
＝おおだて型授業

(3) 5歳児担任・園の先生方

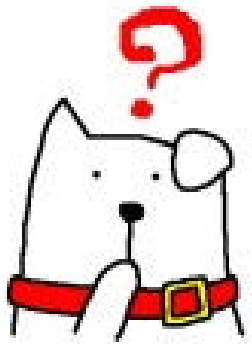
- カリキュラムに示された「資質・能力」や「10の姿」への**意識**
- 興味・関心をもったこと、やりたいと思ったことに存分に取り組める
意図的な環境の構成と援助
- 友達の考えを受け入れ、生かしながら**一緒に工夫する遊び**の充実
- 子どもたちが考え、判断しながら、遊びを創るための援助、**振り返りの充実**
- 保育者の**状況に応じた関わり方、精選された言葉かけ**
- 0歳児から小学校・中学校へとつながる**広い視野をもって**
- **3歳児以下の保育を担当する先生方にも**「架け橋」の意識

ねらい・意図の明確化
＝「共通の視点」を意識した保育

ヒヤリング・アンケートから

(5歳児担任・主任)

1年生は、自分でなんとかしようという気持ちが芽生えている。交流場面では、お兄さんお姉さんとしての自覚をもち、教えたり、声をかけたり、励ましたりして頼りになる存在に。**交流時間での成長が大きいと実感。**



5歳児担任は、子どもの「なぜ?」「何だろう?」に寄り添いながら、すぐに答えを出さず、**一緒に考えたり自分で調べたりできるように、環境を**準備している。

指導方法で迷うことがあれば、保育指針の他に架け橋カリキュラムを参考にすることが増えた。

5歳児担任は、子どもたちがどうしたいのかしっかりと見極め、待ちの保育を行い、**共通の視点を意識して**関わっている。子どもたちで遊びや生活を進めていけるように**工夫したり、考えたりする場面を大切に**し、話合いの**〇〇タイムを有効に**保育に取り入れている。

(4) 5歳児 交流のよさが見える主体的な遊び

- 1年生の「おおだて型授業」の**学び方を真似て遊びに**取り入れる
 - ・「やることリスト」「設計図」 (**見通し**)
 - ・「〇〇タイム」の振り返りで改善点やもっとしたいことを話す
 - ・友達のがんばりや良さを見付けて認め合う
 - ・友達や年下への気遣いや励ましの言葉かけ
- **共通の目的に向かう意欲の継続**
- **友達と話し合って**決める、協力して進める
- 5歳児の育ちの姿は、その下の年齢の子どもの遊びに**影響**
- 「小学校の校舎も、知ってる先生も先輩も居る」は**大きな安心感**

1年生の姿（モデル）が
伸びる原動力へ

なつまっりの
綿菓子屋さん

大成功！！
出来栄えにご満悦！！

発表会の劇で
使う道具作り

一致団結！
問題解決が見えてきた！！

誰か手伝って！！
先生、どうしたらいい？

うまくいかない！！
準備が間に合わない！！

こども園



保育園



小学校



仲間・グループでの対話
全員での振り返り→見通し

(5) 小学校1年生 小学校就学前の経験が見える学びの深まり

- 5歳児での振り返りの経験により、自由に自分の思いや考えを言葉で
- 自分たちで決める、考える、伝える→**学びの主体性**
- **共感的な学級の雰囲気**（肯定的、聞き取る力）
- 年下への**気遣い**（褒めて認めて自信をもたせる言葉かけ、アドバイスの仕方）
- 分かる言葉を使ったり図に書いたりして説明
- 振り返りの話合いから、**次への見通し**
- 問題発生、トラブル発生時こそ、**知恵を働かせて団結**して向かう
- そうじ、後片付けの**素早さ**、生活面のたくましさ
- 他者へのやさしさ、**自らを律する姿** ○ **話す・聞く**のメリハリ

交流による「他者意識」が、
自ら伸びる力へ



文科省実地調査＜交流＞
「楽しい秋いっぱい～音
楽で友達になろう～」

1年生がリーダーシップ
を取り、楽器やリズム、
動きの工夫を話し合う



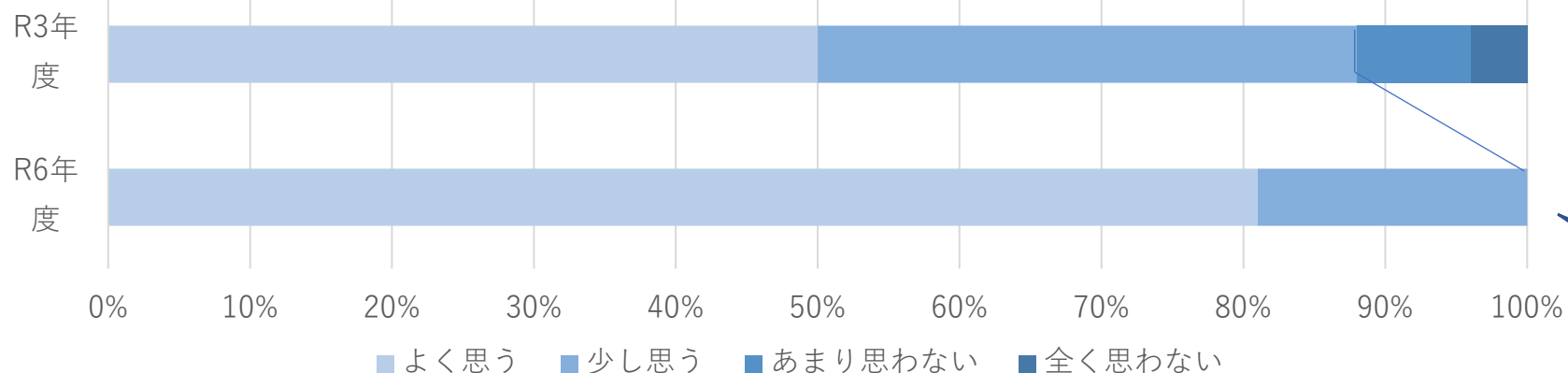
1年生は、昨年自分た
ちがしてもらったよう
に5歳児に問いかけたり、
褒めたりしながら、
思いを引き出して



(6) 調査から見える小学校1年生・2年生の変化

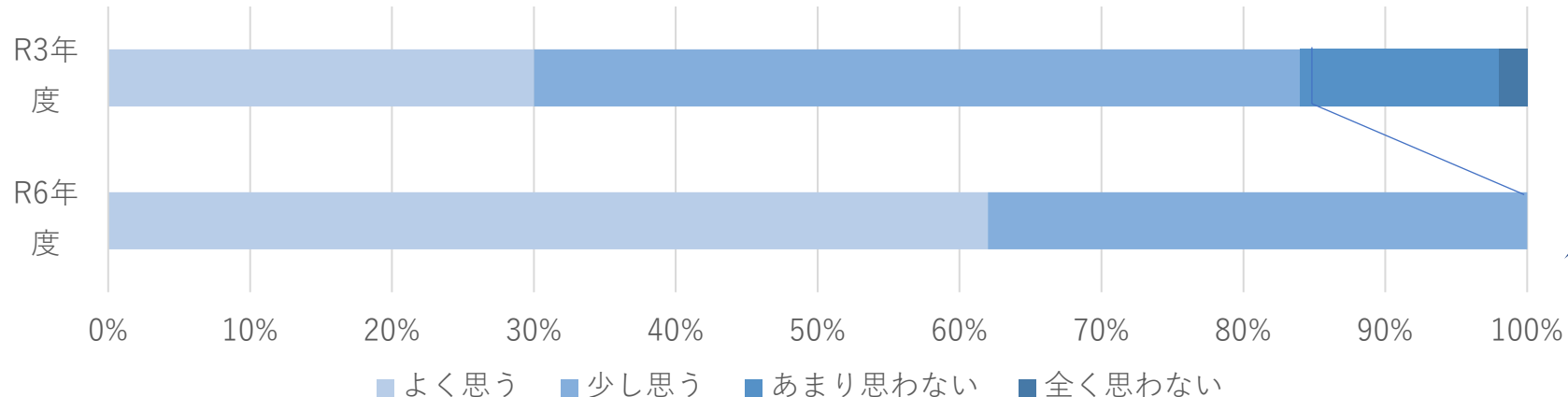
○市「いじめ・問題行動調査」の質問項目から (モデル地区S小学校R3→R6)

Q1 クラスのみんなは私の話をよく聞いている (1年生)



R3 24人
R6 21人

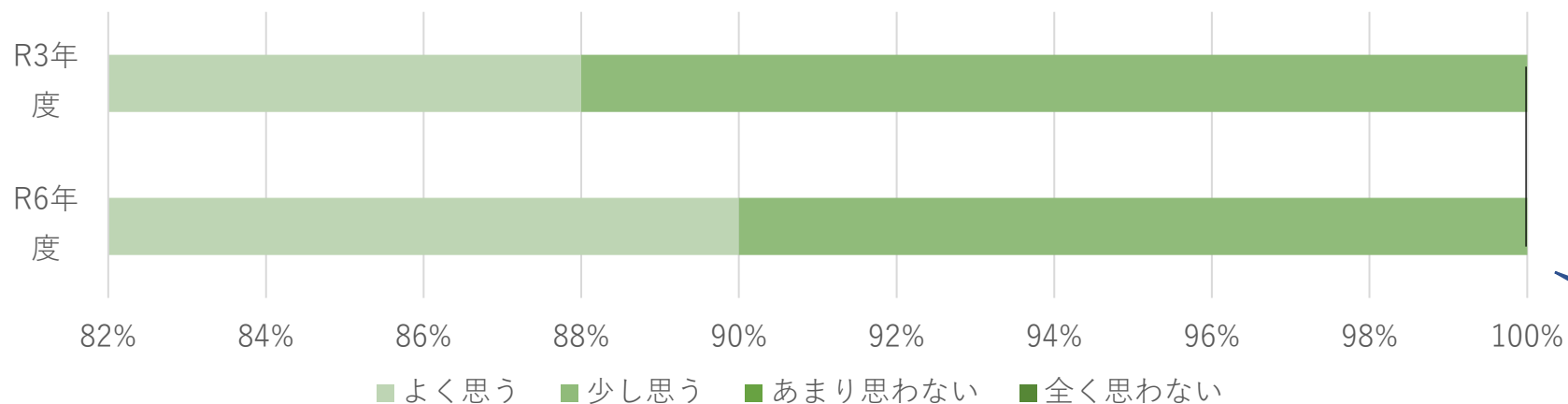
Q1 クラスのみんなは私の話をよく聞いている (2年生)



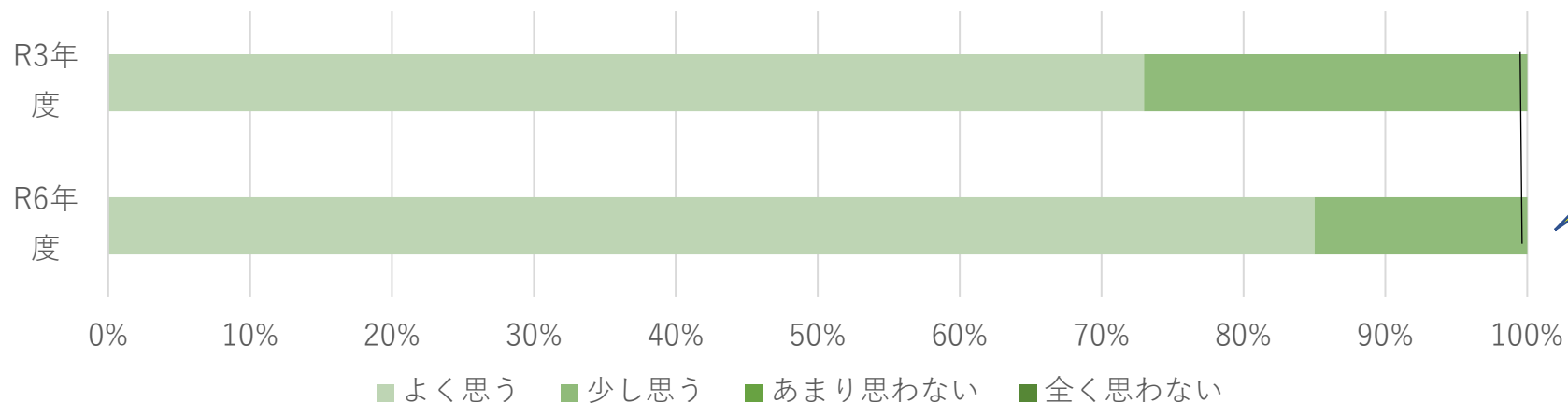
R3 37人
R6 36人

肯定が100%
に

Q2 クラスのみんなで何かするのは楽しい（1年生）

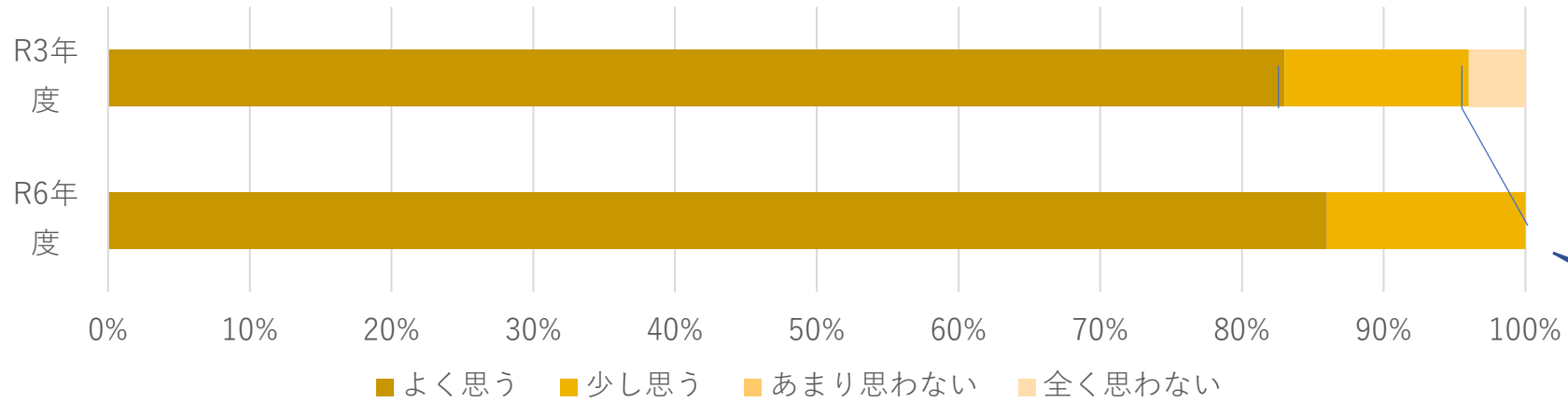


Q2 クラスのみんなで何かするのは楽しい（2年生）

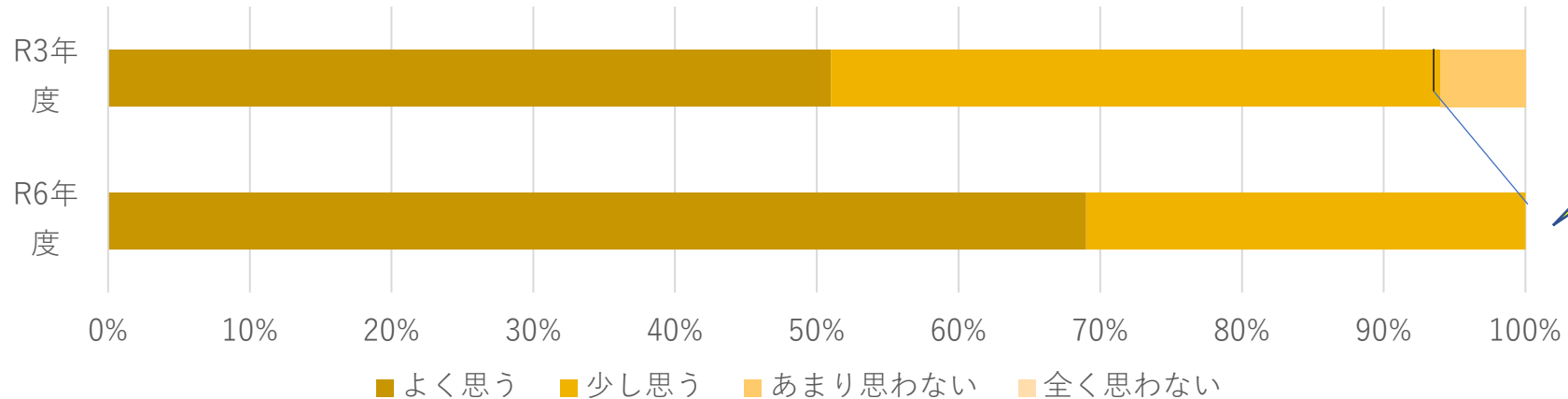


肯定が100%

Q3 学校が楽しい（1年生）



Q3 学校が楽しい（2年生）



肯定が100%
に

(7) 家庭・地域への周知、連携



○ モデル地区等の取組

- ・ 学校報、地域報
- ・ 連絡ボード（掲示板）
- ・ 保護者会や地域のガード隊への説明、校長の園保護者への講話
- ・ 交流活動の参観への案内
- ・ HPやブログ
- ・ ドキュメンテーション

○ 市の取組

- ・ 全4歳児保護者への講話（5歳児相談保護者学習会）
- ・ 就学時健診での保護者への講話、県リーフレットの説明
- ・ マスコミ、地方新聞
- ・ 事例発表、
- ・ 幼保小連携便りへの寄稿



今後は、学校運営協議会、学校評価・園評価等にも広げて

家庭や社会に広げる～共に共通の課題に取り組む小学校区が増加

「メディアコントロールは、
子どものミライ（未来）コン
トロール」園の保護者へ校長
が講話→
幼保小合同の防犯教室↓



 管理職や養護教諭が中心になって、家庭、学校医も巻き込みながら
取組を広げ、具体的な成果に

保護者の目から見た5歳児の変化（モデル地区保育園）



積極性には少し心配な部分もありますが、様々な経験を通して**協調性を学び、自分で考える力**も付いてきているのでは。友達関係も、幼保小連携で、友達ができたようで安心している。

人前での発言ができるようになったり、感想や何をしてきたのか、楽しかったのか、**言葉でしっかり伝えて**くれるようになった。

発言力が身に付いている。1・2学年上との交流で、分からないことがあっても**知っている先輩たちに聞くことができる環境**づくりがされている。



入学への心配はありながらも、
我が子の成長に気付く力

7 課題

(1) 家庭や社会との協働

- 保護者や地域の方々にも「架け橋期」というWordを周知
→架け橋期の育ちの重要性を周知、**親の育ちの場も**

(2) 園と園の協働

- 園を越えて、大館市の子どもを共に育てる意識
→共に実践することが**「当たり前」**に



(3) 職員全体での**共通理解**、人事異動期の職員間の**引き継ぎ**

(4) 架け橋カリキュラムが具体化される**スタートカリキュラム**

架け橋プログラムの
真の目的を見失わず、成果を信じて
来年度のサイクルへつないでいく



幼保小の架け橋プログラムは・・・



小学校への適応だけを目指しているではありません。
カリキュラムの完成がゴールではありません。
架け橋プログラムは、幼保小の交流活動が目的ではありません。



カリキュラムの開発を通して、小学校区で育ちや課題が共有化されます。

同じ子どもを一緒に見る、育ちを伝え合うことで、子どもの発達や互いの教育・保育の理解が進みます。

カリキュラムによって、共通して目指す姿・取組が可視化され、実践することで、確実に子どもの育ちにつながっていきます。



「未来大館市民」の育成に向けて、全小学校区で取り組みます